

# ゴミの分別はなぜするの？

Q. どうしてプラスチックごみは、『きれいなプラスチック』と『汚れているプラスチック』に分別する必要があるの？プラスチックごみは、田村西部環境センターに運ばれて、燃やすと聞きました。どうせ燃やすならば汚れたままでもいのでは？

**A. 「きれいなプラスチックごみ」は、細かく砕いて『燃料』として再利用しています。**

## 【説明】

田村西部環境センター（沢石富沢地区）では、燃えるごみを燃やした後に残る灰にもう一度熱を加えて無害化し、これを道路の路盤材などに資源化しています。このときの燃料に「きれいなプラスチックごみ」を機械で細かく砕いたものを灯油の代わりとして使用しています。（これを「フラフ」といいます。）

昨年度の三春町分のプラスチックごみからは、約167トンを「フラフ」として再資源化することができました。これは、灯油に換算すると約134キロリットル、18リットル・ポリ容器にすると約7千本以上にもなります。また、灯油を使わなかったことによる二酸化炭素削減量は、年間で421トンにもなりました。

このプラスチックごみの再資源化には、汚れたものや濡れたもの、異物が混入したものは使えないため、事前に分別作業を行う必要があります。（ポイント！）しかし、せっかくプラスチックごみに分別して出しているものでも、約3割が汚れなどで利用できていないのが現状です。

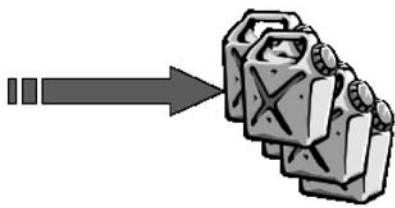
プラスチックごみの資源化は、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出量の削減や田村西部環境センターの運用経費の削減にもつながっています。限りある資源を有効に活用し、地球にやさしい環境を築いていくため、まずは、身近なところから始めてみませんか？皆さんのご協力をお願いします。

## ごみから油田を発掘！

※ 資源化したプラスチックごみは、田村西部環境センターで灯油の代わりの燃料として使用されています。



きれいなプラスチックごみ  
167トン（平成20年度三春町分）



灯油 約134キロリットル分の  
燃料として資源の再利用

### ● 灯油削減分のCO2削減量 年間約421トン

平成20年度の三春町からのプラスチックごみは252トンで、このうち資源として再利用できたのは、167トン（66.3%）でした。

資源化率を高めれば、灯油の使用量が節約でき費用削減と、二酸化炭素排出量の削減による地球温暖化対策に貢献することができます。

問い合わせ先 三春町清掃センター ☎ 62-6123 住民課 生活環境グループ ☎ 62-2147

## 青少年健全育成標語が決まりました

三春町青少年問題協議会主催による青少年健全育成標語コンクールが開催されました。町内各中学校からは、356点の標語が寄せられ、1次審査で56点を選び、10月27日の最終審査会で12名の方々の作品が入選作品に選ばれました。入選作品に選ばれた作品および学校、氏名は次のとおりです。（敬称略）

入選作品については、毎月1点を広報「みはる」に掲載するとともに、全国保護司連盟審査会へ出品いたします。また、入選作品入りカレンダーを制作し各小中学校および公共機関等に配布することで、啓発活動に利用させていただきます。

### 【入選作品】

負けないで 自分の弱さ 甘いワナ  
「やめようよ。」その一言で 防げる非行  
その勇氣 あなたを救う 道しるべ  
広げよう 笑顔があふれる 明るい町  
あいさつと 感謝の気持ちを 忘れずに  
未来の芽 育てていくのは 大人達  
身を守る 強い心を 育てよう  
大丈夫 一人じゃないよ 支え合おう  
あいさつは 相手の目を見て 笑顔でね  
助けよう その一言で 生まれる笑顔  
その勇氣 明るい未来を つくりだす

（三春中2年／橋元愛未）  
（三春中2年／鈴木有紗）  
（三春中2年／加藤沙織）  
（岩江中1年／栗山紗妃）  
（岩江中2年／宮川和貴）  
（岩江中3年／熊田侑希）  
（桜中2年／佐藤拓哉）  
（桜中3年／曾我郁美）  
（沢石中1年／渡辺萌）  
（沢石中2年／坪井美浪）  
（要田中3年／橋本昭博）  
（要田中3年／眞壁南）

### ▼ 問 保健福祉課 福祉グループ ☎ 62-3166

### 三春農民塾設立25周年記念講演

### SAYURI式農業のススメ

三春農民塾は、昭和59年に今村奈良臣先生を塾長とし設立され、今年で設立25周年を迎えます。

25周年を記念して、集落農業や作業の共同化など、今後の農村づくりの参考となるよう講演会を開催します。

事前の申込みはいりません。どなたでも聴講できますので、お気軽にお越しください。

▼日時 12月18日（金）  
午後2時30分

▼場所 三春交流館「まほらホール」

▼問 三春農民塾事務局（産業課農林グループ内） ☎ 62-2112



田中 さゆり 先生

▼入場料 無料（自由席）

▼内容 塾長講義 今村奈良臣塾長

▼午後2時45分  
記念講演 田中小有里先生  
「SAYURI式農業のススメ」

▼午後3時30分